

環境保全研究所をとりまく10年間のあれこれ

H16年4月1日	環境保全研究所の発足【衛生公害研究所と自然保護研究所の統合】 5チーム体制（研究情報チーム・環境保全チーム・循環社会チーム・自然環境チーム・保健衛生チーム）
H16年度	
4月	・第3期野尻湖水質保全計画策定支援
7月	・上高地大気環境・植生調査開始
8月	・山岳地におけるし尿処理の技術実証の開始 ・温泉への入浴剤添加に係る泉質調査 ・食品添加物に係る誤検査
9月	・佐久地域で浅間山噴火に係る緊急大気環境調査実施
1、3月	・野鳥（カラスほか）の大量死の原因調査
3月	・長野県版レッドデータブック（非維管束植物編・植物群落編）発行
H17年度	
10月	・建材等のアスベスト検査体制の整備
1月	・温泉硫化水素ガス調査
3月	・「信州の里山の特性把握と環境保全のために」報告書の発行
H18年度	
4月	・環境保全研究所基本理念の策定 ・山小屋のトイレの類型化、し尿処理及び再生可能エネルギー利用に係る実証実験の開始 ・新版長野県地質図の作成開始
5月	・長野市若里公園犬中毒事案の原因調査
6月	・食品衛生法改正に伴いポジティブリスト制度導入
7月	・霧ヶ峰大気環境・植生調査
11月	・「チーム」から「部」へ名称の変更 （企画総務部、環境全部、循環型社会部、自然環境部、保健衛生部）
2月	・環境保全研究所外部評価委員会の設置 ・新型インフルエンザ検査体制に係る模擬訓練
H19年度	
4月	・第5期諏訪湖水質保全計画策定支援（改正湖沼法に基づく流出水対策推進モデル計画策定調査）
1月	・中国産冷凍餃子への農薬混入事案に伴う検査
H20年度	
12月	・信州大学山岳科学総合研究所と連携・協力に関する協定締結
3月	・「長野冬季五輪から10年後の自然保護対策における現状と課題」報告書の発行
H21年度	
4月	・組織改正により7部体制となる（企画総務部、水・土壌環境部、大気環境部、循環型社会部、自然環境部、感染症部、食品・生活衛生部） ・第4期野尻湖水質保全計画策定支援
6月	・PM 2.5モニタリング試行事業（環境省委託）に参加、調査開始 ・新型インフルエンザ（現インフルエンザ（H1N1）2009）県内初発患者確認以降流行、検査対応
H22年度	
4月	・地球温暖化の長野県内への影響評価と適応策の実施に向けた研究の開始
8月	・環境保全に取り組む市民大集合を開催
10月	・生物多様性条約第10回締約国会議（CBD COP10）に参加
3月	・東京電力福島第一原発事故より放出された放射性物質の検査開始 ・「長野県生物多様性概況報告書」の発行
H23年度	
7月	・野鳥（イワツバメ）の大量死事案に係る原因調査
11月	・第48回全国衛生化学技術協議会年會を長野市で開催
H24年度	
4月	・第6期諏訪湖水質保全計画策定支援
10月	・医薬品査察協定及び医薬品査察協同スキーム（PIC/S）の公的認定検査機関に認定 ・公開シンポジウム「山のクマ・里のクマ」開催（日本クマネットワークと共同主催）
H25年度	
4月	・諏訪湖自然浄化活用事業の調査
1月	・国内冷凍食品への農薬混入事案に伴う検査
3月	・市立大町山岳博物館と連携・協力に関する協定締結 ・「長野県版レッドリスト（植物編）」の改訂
現在に至る	

（企画総務部）

編集後記

- 49号をお届けします。
- 本誌は当研究所の活動や、長野県の環境保全及び保健衛生に関する情報をわかりやすく提供することを目的に発行しています。お気づきのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

（編集担当：企画総務部 電話：026-227-0354）

次号の予告

次号は8月に発行予定です。